

絆による安全・安心、減災

高機能消防指令システム更新事業 2億5895万円 など



消防活動の要となる 通信指令システム

★防災拠点用地等購入事業

防炎広場を整備するための用地だが、広場の概要は、(安心まちづくり室長) 近年各地で発生している災害を踏まえ、本市でも復興活動の拠点整備が急務となった。本市の中央部に位置し、緊急輸送道路となる国道307号、京奈和自動車道に直結した場所であり、内閣府の基準から算出した本市に必要な面積5haを確保できる場所として、田辺西ICの隣接地を選定した。応急対策時に各地の応援部隊の活動拠点、救済物資の一時保管場所として活用する。

★防犯灯設置委託料

各区・自治会からの要望状況と、設置実績は、(安心まちづくり室担当課長) 平成28年度は、全42地区の内、18地区から39カ所の要望があり、17地区の24カ所に設置をした。

★防犯対策費

JR大住駅周辺に設置する防犯カメラの数は、(安心まちづくり室担当課長) 予算がつけば、警察と協議して決定するが、3カ所程度を考えている。

学び・文化のネットワーク創造

全国小学生ハンドボール大会 (30回記念大会) 開催事業 1253万円 など



小学生の熱い夏が来る

★中学校施設整備費

田辺中学校体育館の改修内容と、工事の対応は、(学校環境整備課長) 屋根の軽量化による防災向上と、内外の壁を改修するため、平成29年度に設計し、30年度に施工する予定。工期は約1年

を要するため、田辺中央体育館を活用するなど、授業に支障がないよう考える。

★小学校施設整備費

ハイタンク式トイレの改修状況と、洋式化の方針は、(学校環境整備課長) ハイタンク式が規模に残っているのは、校だが、草内小は28年度に改修しており、残る大住小の改修費を計上した。小規

★埋蔵文化財発掘調査費

どごごごどのような調査を行うのか。(文化振興室統括主幹) 府が所有する南田辺西地区で地形図を作成し、分布調査を行う。

模に残る学校も29年度内に改修したい。洋式化は、各トイレに1カ所は和式を残し、各校の大規模改修時に実施したいと考える。

いきいき健康・子育て支援

河原保育所 仮設園舎整備事業 707万円 など



河原保育所園庭(手前)と仮設園舎予定地(奥)

★保育所持機児童

年度当初での発生は初めてだが、現在の状況は、(子育て支援課長) 定員1205名に対し、平成28年度より1003名多い1300名もの申し込みがあり、現在は一51名の待機児童がいる。

★子育て支援事業

原因は保育士不足だが、今後の解消見込みは、(副市長) 3月にも任期付き正職員の試験を行い、いくらか解消した。臨時職員は随時募集しており、正職員も4月早々に募集を行う。勤務形態は多様化しており、年齢制限の厳しい正職員募集に加え、年齢に幅を持たせた任期付き職員など、各年代に合った雇用で保育士確保に努めていく。

★子育て支援事業

産前・産後ヘルパーや子育てガイドブックなど、複数の事業を絡めて長いスパンでケアしたい。

★禁煙の推進

たばこ税の税収見込みは昨年より少し多い。市の禁煙推進に対する方向性は、(健康推進課長) 喫煙人口が減り、禁煙希望割合が変わらない状態。今後は、マナー啓発と個別指導を強化したい。

★企画調査委託料

次期総合計画の策定予算だが、将来、減少するとされる人口推移も含めた考えは、(企画政策部長) 人口減少という時代の流れを見据え、少

う役割を担うと考えるが、そこに至るにはどのような体制も必要。まずは、目の前の課題から取組みたい。

緑豊かなエコタウンの推進

公園施設 長寿命化事業 1億1010万円 など



築30年が経過する 中央体育館

★中央体育館改修工事

2月に施工した修繕との関係は、(緑のまちづくり室長) 長寿命化計画により平成29年度に施工する改修工事を予算計上している。2月には、アリーナ上部の雨漏り解消のため屋上防水工事のみ前倒しで施工し、現在ところ解消されたと聞いている。

★家庭のエコ支援事業

太陽光発電は、当初の設置目標を達成していない。太陽光のみの単独設置にも助成を再開する。までは、(環境課長) 国の助成を補完する制度として実施していたが、国も助成を打ち切り、現時より販売価格も下がっている。また、目標件数は達成していないが、発電容量は目標値をすでに上回っている。

★市道大住草内線整備効果検討事業

数ある未整備の都市計画道路の中で、なぜ大住草内線の検討となったのか。(計画交通課長) 北・中・南の3拠点を繋ぐ役割の1つと

★排水路整備事業

興戸久保地内で調査が行われる内容は、(都市整備課長) 上流からの流量が増え、豪雨時の排水対策のため、重要となる近鉄線路下の測量と土質調査を行う。

計画策定のメリットは、(計画交通課長) 田辺中央北側での新市街地を計画の中で位置付ける。公共サービス・文化・福祉など市民生活の拠点となる都市機能を有した施設について本計画で定めることが、各ハード事業に対する国の補助を得るために重要なものと考えている。

★ソーアオブジャパン開催負担金

平成28年の観客数と、29年に考える新たな企画は、また、開催を中止した自治体もあるが、その理由は、(企画調整室担当課長) 本市と精華町のコース全体で5万人が来場されたが、ゴール地点の精華町の方が多かったと考える。昨年の反省から、警備の増強や、仮設トイレの増設、モニターの大型化を予定している。開催を中止された自治体の理由としては、約半日にわたる交通規制や、財源的な理由で地元協力が得られなくなったと聞いている。昨年の開催後に、本市の地元新聞に、大きな苦情もなく受け入れられていると考える。

魅力あるコンパクトシティの推進

新田辺駅東地区 まちづくり事業 1400万円 など



商店が並ぶ新田辺駅東側

★企画調査委託料

次期総合計画の策定予算だが、将来、減少するとされる人口推移も含めた考えは、(企画政策部長) 人口減少という時代の流れを見据え、少

★立地適正化計画策定事業

市制20周年記念式典開催事業 440万円 など

平成29年4月1日 市制20周年



京田辺市も20歳に

市制20周年記念関連事業

市民提案事業補助金

区・自治会提案事業補助金

補助金の内容と反響は、(市民参画課長) それぞれ、月に募集を行う。市民提案事業は、募集も終わって現在審査中だが、予想を上回る応募があったため、予定していた額の3倍となる300万円を平成29年度当初予算に計上した。

市制20周年に於いて実施される事業について補助するもので、区・自治会は4月から6